

東京都立淵江高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科・科目	数学・数学Ⅱα	単位数	2	対象学年・組	第2学年全クラス
使用教科書	数学Ⅱ Standard (東京書籍)	教科担当者名	水原 飛鳥馬 岩本		
使用教材	数学Ⅱ WRITE (東京書籍)				

学期	月	予定 時数	指導内容		具体的な指導目標	評価の観点・方法
1 学 期	4	24	1 章 複 素 数 と 方 程 式	1 整式の乗法	3次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をする。また、整式の除法や分数式の四則計算について理解し、簡単な場合について計算をする。	関心・意欲・態度 数学的な見方や考え 方 表現・処理 知識・理解 の4観点を、 授業中の活動状況 課題等提出物の内容 確認テストの達成度 合 定期考査の成績 によって 総合的に評価する。
				2 二項定理		
				3 整式の除法		
				4 分数式		
	5		2 節 複 素 数 と 2 次 方 程 式	1 複素数	数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則演算をする。また、2次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解する。	
	6		2 2次方程式			
	7		3 解と係数の関係			
2 学 期	9	28	2 章 図 形 と 方 程 式	1 剰余の定理と因数定理	因数定理について理解し、簡単な高次方程式の解を因数定理などを用いて求める。	
				1 式と証明	等式や不等式が成り立つことを、それらの基本的な性質や実数の性質などを用いて証明する。	
	10			1 直線状の点の座標と内分・外分	座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表す。また、座標平面上の直線を方程式で表し、それを二直線の位置関係などの考察に活用する。	
				2 平面上の点の座標と内分・外分		
	11			1 直線の方程式	座標平面上の円を方程式で表し、それを円と直線の位置関係などの考察に活用する。	
				2 2直線の関係		
	12			1 円の方程式	座標平面上の円を方程式で表し、それを円と直線の位置関係などの考察に活用する。	
				2 円と直線の関係		
3 軌跡						
3 学 期	1	18	4 節 不 等 式 の 表 す 領 域	1 円で分けられる領域	軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求める。また、簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりする。	
	2			2 直線で分けられる領域		
	3			3 連立不等式の表す領域		